**TECHNICAL GUIDE: ARCSERVE BACKUP R17.5** 

# Arcserve® Backup r17.5

# 環境構築ガイド

インストール編

2018年 11月

REV: 1.2



# 目次

1. インストール環境の確認	4
1.1 動作要件の確認	4
1.2 バックアップ装置の確認	4
1.3 前提条件	4
2. インストールの準備	7
2.1 デフォルトのインストール パス	7
2.2 Arcserve Backup r17.5 のサービスに必要なアカウント	7
3. インストール	7
3.1 Arcserve Backup r17.5 ベース (バックアップ サーバ) のインストール手順	7
3.2 最新のパッチ、各種モジュールの確認	15
3.3 ライセンスの登録	16
4. アンインストール	17
5. オンラインヘルプ/マニュアル	17

変更履歴: 2018 年 2 月作成 2018 年 11 月 Arcserve サポート関連リンク修正

この資料は 2018 年 2月 13 日現在の Arcserve Backup r17.5 製品リリース版をもとに記述しています。

すべての製品名、サービス名、会社名およびロゴは、各社の商標、または登録商標です。

本ガイドは情報提供のみを目的としています。Arcserve は本情報の正確性または完全性に対して一切の責任を負いません。Arcserve は、該当する法律が許す範囲で、いかなる種類の保証(商品性、特定の目的に対する適合性または非侵害 に関する黙示の保証を含みます(ただし、これに限定されません))も伴わずに、このドキュメントを「現状有姿で」提供 します。Arcserve は、利益損失、投資損失、事業中断、営業権の喪失、またはデータの喪失など(ただし、これに限定 されません)、このドキュメントに関連する直接損害または間接損害については、Arcserve がその損害の可能性の通知を 明示的に受けていた場合であっても一切の責任を負いません。

© 2018 Arcserve (USA), LLC. All rights reserved.

#### 1. インストール環境の確認

#### 1.1 動作要件の確認

Arcserve Backup r17.5 の動作要件や必要スペックは、下記 WEB ページを参照して下さい。 https://support.arcserve.com/s/article/218380243?language=ja

#### 1.2 バックアップ装置の確認

バックアップ先として、テープ装置や VTL などのストレージ デバイスをご利用になる場合は、 下記の点を確認してください。

- ・ サーバからテープ装置や VTL などの装置が正常に認識されていること
- 「Arcserve Backup 認定済みデバイス」掲載のデバイスであること
   認定済みデバイス:
   <a href="https://support.arcserve.com/s/article/115000596703?language=ja">https://support.arcserve.com/s/article/115000596703?language=ja</a>

ストレージのファームウェアは、認定済みデバイス掲載バージョンか、上位バージョ ンであれば、原則サポート対象デバイスとなります。

 ※ ハードディスクへバックアップされる場合には、認定済みデバイスはありません。
 Arcserve Backup からフルコントロール権限でアクセスできるドライブや CIFS 共有フォルダであれば、原則サポートとなります。(重複排除の場合は、
 FAT/FAT32 フォーマットは未サポートです)

#### 1.3 前提条件

Windows Server 2016/2012 R2/2012 環境に Arcserve Backup のベース製品 (バックアッ プ サーバ) を導入する場合は、「.Net Framework 3.5 Features」が必要になります。 Windows Server 2008 R2/2008 環境にベース製品を導入する場合は、「.Net Framework 4.5.1」が必要になります。

「.Net Framework 3.5 Features」の導入方法 (Windows Server 2016/2012 R2/2012) OS メディアを DVD ドライブにセットし、[サーバーマネージャ] から [役割と機能の追加] を選択します。

[.Net Framework 3.5 Features] を選択し、 [次へ] をクリックします。

🟊 役割と機能の追加ウィザード	-		×
機能の選択		対象サ JP-PRE	-/(= -SV5
<ul> <li>開始する町に</li> <li>インストールの増損</li> <li>フーバーの通扒</li> <li>ユーバーの使剤</li> <li>構設</li> <li>補助</li> <li>細果</li> </ul>	選択したサーバーにインストールする職能を1つ以上豊原します。	:、魅力的な -ザーの個人 テリングする デブングする amework 2 み合わせま	ユー . 悟福 能新
	< 約へ(P) 次へ(N) > インストール()	キャン	ะม

[代替ソースパスの指定] をクリックします。

▶ 役割と機能の追加ウィザード	-		×
インストール オプショ	ヨンの確認	対象サー JP-PRE-	-/(- SV5
▲ 代替ソース バスを指定する必	要がありますか? 1 つ以上のインストールの選択項目がインストール先サーバーにないソース ファイルです。サーバ・	-la	×
開始する前に	選択したサーバーに次の役割、役割サービス、または機能をインストールするには、[インストール]をクリック	してください	•
インストールの種類	○ 必要に応じて対象サーバーを自動的に再起動する		
サーバーの選択 サーバーの役割	オプションの機能(管理ツールなど)は、自動的に選択されるため、このページに表示されている可能性が のオプションの機能をインストールしない場合は、[前へ]をクリックして、チェックボックスをオフにしてくださし	あります。こ 、。	n6
機 <b>能 確認</b> 加美	JNET framework 3.5 Features INET framework 3.5 (NET 2.0 および 3.0 を含む)		
	構成設立のエクスポート (代替ソース) パスの指定		
	< 約へ(P) 次へ(N) > 【北北市 (小山)	キャンセ	JIL

DVD ドライブを確認し、パスに "DVDドライブ:¥Sources¥SxS¥"を入力後、 [OK] をクリックします。

▶ 役割と機能の追加ウィザード	×
代替ソースパスの指定	
一部のサーバーに、すべての役割、役割サービス、または機能を追加するために必要なすべてのソース ファイルがない可能性がありま す。ソース ファイルがインストールされていないか、オペレーティング システムのイソストール後に削除された可能性があります。	:
役割または機能をインストールするサーバーに必要なすべてのソース ファイルがない場合、Windows Update、またはグループ ポリ シーで指定されている場所からファイルを取得できる可能性があります。	
また、対象サーバーにリソースファイルがない場合は、リソースファイルの代替パスを指定することもできます。ソースパスまたはファイル 共有は、Everyone プループに読み取りアクセス許可を与えるか(セキコリティ上の理由からお勧めしません)、または対象サーバーの コンピニック・ローカル システム)アカウントに読み取りアクセス許可を与える必要があります。つまり、ユーザーアカウントにアクセスを 許可しても不十分です。	2
次の例は有効なソース ファイル バスです。 対象サーバーはローカル サーバーで、 Ei ドライブには Windows Server インストール メディア が挿入されています。	7
.NET Framework 3.5 機能のソース ファイルは標準インストールの一環としてはインストールされていませんが、サイド パイ サイド スト ア (SxS) フォルダーにあります。 E:¥Sources¥SxS¥	
他の機能のソースファイルは、Install.wim ファイルにあります。パスに WIM: ブレフィックスと、ソース ファイルの取得元イメージのイン デックスを示すサフィックスを追加してください。次の例では、インデックスは 4 です。 WIM:EVSourcesVInstall.wim:4	
パス: D:¥Sources¥SxS¥	]
OK         キャンセル	

[インストール] をクリックします。

インストール オプ	ションの確認	対象サ
▲ 代替ソース バスを指定す	5必要がありますか? 1 つ以上のインストールの選択項目がインストール先サーバーにないソース ファイルです。サー	バーは
開始する前に	選択したサーハーに次の役割、役割サービス、または傍蛇を1フストールするには、[1フストール]をソリ	990CCCai
インストールの種類	○ 必要に応じて対象サーバーを自動的に再起動する	
サーバーの選択	オブションの機能 (管理ツールなど) は、自動的に選択されるため、このページに表示されている可能性	Eがあります。 3
サーバーの役割	のオブションの機能をインストールしない場合は、「前へ」をクリックして、チェックホックスをオフにしてくだ	さい。
機能	.NFT Framework 3.5 Features	
確認	.NET Framework 3.5 (.NET 2.0 および 3.0 を含む)	
结果		
	構成設定のエクスポート	
	代替ソースパスの指定	

インストール終了を確認し、[閉じる] をクリッ クします。

▲ 役割と機能の追加ウィザード		-		×
インストールの進行	<b>亍状況</b>		对象サ- JP-PRE-	-/(- SV5
開始する前に	インストールの進行状況の表示			
インストールの種類	() 機能のインストール			
	JP-PRE-SV5 でインストールが正常に完了しました。			
機能 確認 <b>結果</b>	JNET Framework 3.5 features JNET framework 3.5 (NET 2.0 方よび 3.0 を含む)			
	このウイザードを開いても、東行中の処理が中断されることはありません。処理の進行 「「」 べージを育実識いたりするには、コマンドパーの(通知)をクリックし、(タスクの詳細) 構成設定のエクスポート	「状況を表示 をクリックしま	Rしたり、こ kす。	.o
	< 新へ(P) 次へ(N) > []	8U3	キャンさ	211

「.Net Framework 4.5.1」の導入方法 (Windows Server 2008 R2/2008)

バックアップ サーバを導入する環境にてインターネットに接続できる場合、Arcserve Backup のインストール時に自動的にオンライン接続し、「.Net Framework 4.5.1」と言語 パックを導入します。

オンライン接続ができない場合は、日本マイクロソフト社の下記Webページより、「.Net Framework 4.5.1」と、「.Net Framework 4.5.1 言語パック」の 2つをダウンロードし、 Arcserve Backup バックアップ サーバのインストール前に該当サーバに導入します。 https://support.microsoft.com/ja-jp/kb/2858728

# 2. インストールの準備

#### 2.1 デフォルトのインストール パス

Arcserve Backup r17.5 の下記フォルダをデフォルト パスとして導入します。

・64bit 環境の場合

C: ¥Program Files (x86) ¥CA¥ARCserve Backup¥

(Arcserve データベース: C:¥Program Files (x86)¥Microsoft SQL Server¥)

32bit 環境の場合

C: ¥Program Files ¥CA ¥ARCserve Backup ¥

(Arcserve データベース: C:¥Program Files¥Microsoft SQL Server¥)

#### 2.2 Arcserve Backup r17.5 のサービスに必要なアカウント

「Arcserve Backup システム アカウント」は、ローカルの Administrators グループに属するユ ーザを使用します。指定されたアカウントには、Backup Operators グループ権限を自動的に追加 します。このアカウントは、Arcserve Backup のサービスからハードディスク ドライブやローカ ル ネットワークなどのローカルリソースにアクセスするために利用します。

ドメイン環境では、Domain Admins グループ権限も必要となります。ドメイン名は 15 バイト (半角 15 文字) 以内で指定してください。また、ユーザの権利として「オペレーティング システ ムの一部として機能」「ローカル ログオン」「サービスとしてログオン」が必要となります。

# 3. インストール

#### 3.1 Arcserve Backup r17.5 ベース (バックアップ サーバ) のインストール手順

製品メディアがお手元に無い場合、下記のサイトから製品のダウンロードを行ってください。 https://support.arcserve.com/s/topic/0TO1J000000I46vWAC/arcserve-backup-productdownloads

#### [インストール手順]

 Arcserve Backup r17.5 をインストールするサーバに、Administrator または Administrators グループのユーザでログオンします。

- Arcserve Backup r17.5 のインストール メディアからインストールする場合は、ドライブ にメディアをセットします。インストーラが自動起動します。
   製品をダウンロードしてインストールする場合や、インストーラが自動起動しない場合は、 メディア内、もしくはダウンロードフォルダ内のルートディレクトリにある "setup.exe" を実行してください。
- [インストール Arcserve Backup for Windows サーバおよびエージェントのインス トール]をクリックします。

arcserve	Backup
マニュアル サポート情報 研修サービス メディアの参照	<ul> <li>インストール Arcserve Backup for Windows サーバおよびエージェントのインストール</li> <li>インストール手腕 Windows 以外のブラット フォームの Arcserve Backup エージェント</li> <li>インストール手順 Arcserve Backup UNIX/Linux Data Mover</li> <li>ブート可能メディアの作成 惨事復日用</li> <li>マニュアル Arcserve Backup 製品マニュアル</li> <li>サポート情報 弊社へのお問い合わせ</li> <li>研修サービス Arcserve Backup の研修 サービスに関する情報</li> </ul>

- (前提条件コンポーネント)
   [インストール]をクリックし、前提モジュー ルを導入します。
  - ※ この画面は、Arcserve Backup の前提条 件コンポーネントが検出されなかった場合 にのみ、表示されます。



 [言語の指定]
 "日本語"が選択されたまま、[OK] をクリック します。

💼 このインストールに使用する言語を選択してください。	
16	
日本語	
して しん ちゅうちゅう しん	

[使用許諾契約]
 使用許諾契約を最後までお読みください。
 同意できる場合は、[同意する]を選択し、
 [次へ]をクリックします。

以下の使用許諾契約會も	the class	er∨e <sup>°</sup> Backup
<ul> <li>使用許認知的</li> <li>方式</li> <li>環境設定</li> <li>環境設定</li> <li>セットアップ サマ)</li> </ul>	また、より読みしてない。 本語により-パーティ(キャッフトウムア単二が全まれている場合があり、そう 使用品やにも用ないたくの要があります。本知信用品やは、年になりア・ Copyright Spyry[ (name of copyright cames) Licensed under the Apache License, Version 20 (the "License"); y the License, You may obtain a copy of the License at http://www.apache.org/ifcense/LICENSE-20 Dhiess required by applicable law or agreed to in withing, software 'As ST BAGS, WITHOUT WARAGARIES OR CONDITIONE OF ANY KG the specific Unguage governing permission and limitations under	ncの発品をインストーあす おに先立ちサードバーティ 供品の点カ ニューザタ用が開始時 合切に記載されています。 nou may not use this file except in compliance with or dustbuilded under the License is distributed on an NQ, other express or implied. See the License for the License.
	(で「原意する(の) (*) 同意しない(0) 使用許認知的自命事項をすべてお読みの上、(同意する)を選択してくどさ	v ⊒£÷ ±08 804

 [方式]
 このガイドでは、ローカル サーバへの新規 インストールを行います。
 インストール方法に [ローカル] を選択し、
 [次へ]をクリックします。



- [インストールの種類]
   種類から [カスタム]を選択した後、
   [Arcserve スタンドアロン サーバ]を選択して [次へ]をクリックします。
  - ※ Arcserve プライマリ サーバ / メンバ サーバの詳細は、実装ガイド「付録 B:推 奨事項を使用した Arcserve Backup の インストールおよびアップグレード」をご 覧ください。



9. [コンポーネント]

前の手順で選択したインストールの種類に応 じてコンポーネントがデフォルトで選択され ます。追加で導入するコンポーネントがある場 合、ここで選択します。導入パスを変更する場 合は、コンポーネントを選択し、インストール パスを変更します。

Arcserve スタンドアロン サーバの場合は、 下記コンポーネントが導入されます。

- マネージャ (コンソール)
- ・ベース
- Client Agent for Windows for x64-Based Systems ※1
- Agent Deployment セットアップ ファイル ※2
- ・ 診断ユーティリティ ※3
- ・ Arcserve バックアップ パッチ マネージャー
- ※1 バックアップ サーバ自身のローカル バックアップに必要なコンポーネントです。ロー カル バックアップ分のライセンスは、ベース製品に含まれます。
- ※2 Arcserve Backup インストール メディアを使用せずに、リモート マシンに対して Arcserve Backup エージェントを配布するためのアプリケーションです。このコンポ ーネントを導入するには、約 1.3 GB のハードディスク空き容量が必要です。導入しな い場合は、チェックを外してください。
- ※3 トラブル シュートのため、Arcserve Backup の一連のログと、システム ログを収集 できるツールです。詳細は管理者ガイド「第9章:データベースの管理とレポート」を ご覧ください。
- ※4 Arcserve Backup 製品のパッチを管理するためのコンポーネントです。詳細は「3.2 最新のパッチ、各種モジュールの確認」で後述します。



- 10. [アカウント] アカウント **Orcserve** Backup Windows 管理者アカウントのドメイン名 使用時間期
   ライセンスキー ターゲットホスト:[W2016] Windows 管理者アカウントを指定します Microso W201 (ワークグループの場合はサーバ名) とユー ..... -ザ名を確認し、パスワードを入力します。 p Fメイン アカウントを指定し Arcserve Backup (5412(A) W201 また、Arcserve 各種機能にアクセスする、 「caroot」 アカウントのパスワードを入力し パスワードの確認(C) パスワードを保存する(R ます。 Web サービスのインストー Web サービス設定 8020
  - ※ [Arcserve Backup Web サービスのインストール] は、イメージバックアップ製品
     Arcserve Unified Data Protection の "テープ コピー" タスクから、Arcserve
     Backup への連携機能を使うためのサービスです。連携機能を利用しない場合は、チェックを外すことができます。
- 「データベースの設定」
   データベースの種類で [Arcserve デフォルト データベース] が選択された状態で [次へ] をクリックします。

データベースの設定		<b>OrCSErVe</b> Backup
<ul> <li>使用指は認知</li> <li>ライセンスキー</li> <li>ホスト情報</li> <li>環境設定</li> <li>インストールの復期</li> <li>コンボーネント</li> <li>アカウント</li> </ul>	■ ターブット ホスト(W2016) データベースの登場を置けしてください。	Accore 5735): データベース
<ul> <li>アスワード</li> <li>テータペースの設定 エージェント設定</li> <li>セットアップ サマノ</li> <li>インストールの連歩状況</li> <li>先了</li> </ul>	<ul> <li>Accenve デフォルト テータペースの(</li></ul>	ンストール / XX 構成します Okhogram Files (JKNW/Mcrocelt SOL Server  ーク アイル パス  Okhogram Files (JKNW/Mcrocelt SOL ServertNSSOL12 ARCSERVE_DEMASSOLIVDATA
	-SOL 會語駅会調件設定 ( デフォルドの駅会調件 ( 東アジア會議の駅会議件	Japanese T
品编辑 adma 在表示	<i>ከዓወያ ገጉ</i> ብዙውና አス፦	CNProgram Files (x88)HCANARCserve Backup#CATALOG.D84

< 戻さ(B) 次へ(N) >

- ※ Arcserve Backup r17.5 SP1 以降では、デフォルト データベースとして、Microsoft SQL
   Server 2014 SP2 Express Edition を導入します。
- ※ 「カタログ ファイル」はバックアップしたフォルダ/ファイル情報の格納に利用します。
- ※ Arcserve データベースに、製品版の Microsoft SQL Server を利用する場合は、
   [Microsoft SQL Server データベース]を選択します。この場合には、Arcserve Backup のインストール前に、バックアップ サーバ、もしくはネットワーク上のサーバに SQL Server をインストールし、SQL インスタンスの作成を行っておきます。

12. [メッセージ] 警告メッセージを確認し、[次へ] をクリック します。

ALC Y	<b>GrcserVe</b> Backup
(地路に記名) 、 方式 ・ 方式 ・ すまま ・ 年間を設定 ・ 年間を設定 ・ 2月の一点発展 ・ 2月の一点発展 ・ フルーネーント ・ アーライーン反応定 ・ フルースト ・ アーライン にかって ・ フルースト ・ フルースト ・ フルースト ・ アーライン にかって ・ フルースト ・ フルースト ・ フルースト ・ フルースト ・ アーライン ・ フルース ・ フルース ・ フルース ・ フルース ・ フルース ・ アースト ・ アースト	● ワイカトねと (MODI) ✓ パスールを装飾するに、はての音音がなージをお飲みくだたい ドレオマックははTFのエンボーネントをインストールします: ・ Microsoft SGL Server 2014 Express Edition ・ Java Furtime Environment (JRE) 19 ライカ・フィンジェビ、Microsoft SGL Server Native Client 製品が存在している場合、TMicrosoft SGL Server 2014 Express Edition のでた。アップが失敗する特別になることがあります。(プログラム) の通知と対象的を世界して、Microsoft SGL Server Native Client モアンインストールしてびとない。
	-184

 13. [セットアップ サマリ] インストールするコンポーネントと、インス トール パスを確認し、[インストール] をク リックします。



14. [インストールの進捗状況] Arcserve Backup を利用するために必要な モジュールのインストールに続き、Arcserve Backup のコンポーネントのインストールが 行われます。



15. [ファイアウォール登録] Arcserve Backup の通信を行うために、フ ァイルウォールの例外に登録します。[次へ] をクリックします。

ファイアウォール登録	<b>Grcserve</b> <sup>®</sup> Back	up
+ ファイアウォール立録	Arcserve では、Windows ファイアウォールの例外として以下のサービスプログルを登録する必要があります。	
	#-r284870756 37-93	1
	GASDEspine         G77/77-108/PK-SIB2114.         CHPogan File: 088/CAABGARD           GASDEspine         G77/77-108/PK-SIB2114.         CHPogan File: 088/CAABGARD	
	Windows ファイアウォールの例外として Arcserve サービスノブログラムを登録することを許可する(A)	
	ネットバーク ロケーションの理想を提択してくだね ト	
	▼ ドメイン:ドメインに関連付けられている職場でのネットワーク(①)	
	「 自宅/業務(ブライベート): 既知で運転できる人々やデバイスが接続された自宅または業務のネットワーク()	Ш
	☞ パブリック: 空港やコーヒー ショップなどの公共の場所にあるネットワーク(空)	
	○ Windows ファイアウォールの例外として Arcserve サービス/プログラムを登録することをスキップする(S)	
	ご注意:この手模をスキップすると、Arcserve Backup の通信が正常に行われない場合があります。	
19-12-12		
aadma S-B-TT		

[インストール レポート]
 インストール結果を確認します。 [次へ] を
 クリックします。



17. [インストール レポート]
 [完了] をクリックします。

前述ステップ 9. [コンポーネント] にて、 "Agent Deployment セットアップ ファイ ル" のチェックを外している場合は、後述ス テップ 20. [セットアップ画面の終了] に進 みます。



- [Agent Deployment のインストール]
   [続行] をクリックします。
  - ※ Agent Deployment セットアップ ファ イルは 1.3 GB 程のハードディスク容量 を使います。インストールを中断する場 合は、[キャンセル] をクリックします。

	CICSETVE Backup
4221-4	Arcenere Backap のインストールが完てしました。 Arcenere Backap のインストールが完てしました。 このニーナリアナでは、目的のArcener Backap ナーバに Agent Deployment セットアップ フィびんモインストールできます。 スタルモ Deployment モデザデアシュークストール メディアを開催しなておりモート ホストンビネタ Arcenere Backap エーッシントのグンストー Agent Deployment セットアップ フィびんにス ターブット ナーバンにおき 1.300 のゲバン型を登場が必要です。 メスターンない パン

19. [インストール] Agent Deployment セットアップ ファイ ルのインストールが終了します。[完了] を クリックします。

インストール	CICSETVE Backup		
+ 1521-s	Arcserve Bickup のインストールが完てしました。 Arcserve Bickup のインストールが完てしました。 このニテイリティビス、目的 Arcserve Bickup キーパに Agent Deployment セットア・ブ ファイルモインストールできます。 スタルロ Deployment そのサラット・パントル・メディアを思したくてリモートホストンにある Arcserve Bickup エーシントル インストール Registry アングーーを発言できます。 インスート 人を発言できます。 プンディキーション・パス、 〇〇やmogram File (160) KCAMARCserve Bickup PFackagetMagentDeploy+ インスートがますしまえ。		
	770 4720		

20. [セットアップ画面の終了] 最後に [終了] をクリックします。

arcserve	Backup
マニュアル サポート情報 研修サービス メディアの参照	<ul> <li>・ インストール Arcserve Backup for Windows サーバあよびエージェントのインストール</li> <li>・ インストール手順 Windows 以外のブラット フォームの Arcserve Backup エージェント</li> <li>・ クンストール手順 Arcserve Backup UNIX/Linux Data Mover</li> <li>・ ブート可能メディアの作成 惨事復日用</li> <li>・ マニュアル Arcserve Backup 製品マニュアル</li> <li>・ サポート情報 弊社へのお問い合わせ</li> <li>・ 研修サービス Arcserve Backup の研修 サービスに関する情報</li> </ul>

[スタート メニューの確認]
 Windows Server 2016 に導入した場合は、
 [スタート メニュー]のArcserve グループ
 アイコンの展開を確認します。

展開できない場合は、一度 OS をログオフし、 再度ログオンし直します。

再ログオン後に、[スタート メニュー] を確認します。





以上で Arcserve Backup r17.5 のインストール作業は終了になります。 なお、インストールしたコンポーネントによって、OS 再起動が必要になる場合があります。

#### 3.2 最新のパッチ、各種モジュールの確認

#### [最新のパッチ、各種モジュールについて]

インストール完了後、適用可能なサービスパックや修正モジュールがあるか確認してください。 確認方法は下記 URL から [ダウンロード (Patches)] にアクセスします。ご利用の製品および バージョンのリンクをクリックすると、適用可能なモジュールを確認できます。 https://support.arcserve.com/s/topic/0TO1J000000I3ptWAC/arcserve-backup-patch-

index?language=ja\_JP

Arcserve Backup には、パッチ適用ツールの「Arcserve Patch Management Tool」 (以降 APM と記載) があります。APM はご利用の Arcserve Backup に未適用のパッチがある場合、 自動ダウンロードでき、さらにはパッチの適用まで行うことができます。r17.5 SP1 以降では、 APM はデフォルトでインストールされます。それ以前のバージョンで APM をご利用になる場 合は、Arcserve Backup のインストーラを起動し、最初に表示される画面で「インストール Arcserve Backup Patch Manager for Windows」からインストールを行ってください。

APM の詳細は、「Arcserve Backup Patch Manager ユーザ ガイド」をご覧ください。 ユーザ ガイドは、下記「製品マニュアル」ページから [Arcserve Backup r17.5 マニュアル選 択メニュー] にアクセスし、[パッチ マネージャ] を展開すると参照できます。

「製品マニュアル」ページ: https://support.arcserve.com/s/article/115000597983?language=ja

【バージョンと Build 番号の確認】 Arcserve Backup マネージャでバージョンと Build を確認します。ツール バーから 【ヘルプ】-[バージョン情報]を選択して下さ い。



#### 3.3 ライセンスの登録

以下のサイトの手順にしたがい、ライセンスを登録してください。

製品のライセンス登録方法のご案内 https://arcserve.com/jp/jp-resources/licensing/

※ライセンス登録をしない場合、インストール後30日間はトライアルとしてご使用いただけます。

### 4. アンインストール

Arcserve Backup r17.5 をアンインストー ルするには、OS のコントロールパネルから 「プログラムのアンインストール」を起動し、 [Arcserve Backup] 上でダブルクリックし ます。

← → ~ ↑ □ > コントロール	・パネル > フログラム > フログラムと機能				
コントロール パネル ホーム	プログラムのアンインストールまたは変更				
インストールされた更新プログラムを 表示	プログラムをアンインストールするには、一覧からプログラムを溢択して「アンインストール」、「変更」、または「修復」をクリックします。				
<ul> <li>Windows の機能の有効化または 無効化</li> </ul>	整理 * アンインストール				
	4歳 ^	発行元	インストール日	サイズ	パージョン
	Arcserve Backup	Arcserve (USA), LLC	2018/02/05		17.5.8021
	Microsoft ODBC Driver 11 for SQL Server	Microsoft Corporation	2018/02/05	5.15 MB	12.2.5000.0
	📃 Microsoft SQL Server 2008 セットアップ サポート ファイル	Microsoft Corporation	2018/02/05	37.2 MB	10.3.5500.0
	Microsoft SQL Server 2012 Native Client	Microsoft Corporation	2018/02/05	7.85 MB	11.2.5058.0
	Microsoft SQL Server 2014	Microsoft Corporation	2018/02/05		
	Microsoft SQL Server 2014 Transact-SQL ScriptDom	Microsoft Corporation	2018/02/05	6.18 MB	12.2.5000.0
	📄 Microsoft SQL Server 2014 セットアップ (日本語)	Microsoft Corporation	2018/02/05	55.8 MB	12.2.5000.0
	Microsoft Visual C++ 2005 Redistributable	Microsoft Corporation	2018/02/05	4.89 MB	8.0.59193
	Microsoft Mercel Co. a 2005 Redicteiburtable (uE4)	Microsoft Corporation	2018/02/05	6.88 MB	8.0 50102

対象のコンポーネントを選択し、アンインス トールを実施します。

Arcserve Backup アブリケーション	力相同後
コンポーネント	<b>OrCSerVe</b> <sup>®</sup> Backup
★ 20ポーネント メッセージ 再録	以下のArcserve Backup コンポーネントがご使用のコンピュータにインストールされていることが供出されました。新除対象のコンポーネントを 第代してくてきい。 ク コンポーネント名 ② Arcserve Backup ③ Arcserve Backup ③ Arcserve Backup Patch Microsoft SQL Server ③ Arcserve Backup Patch Microsoft SQL Server ③ Arcserve Backup Patch Manager
	< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

※ Arcserve データベースとして使用している、Microsoft SQL Server Express Edition も削除 する場合は、「プログラムのアンインストール」から対象製品を選択してください。

# 5. オンラインヘルプ/マニュアル

Arcserve Backup のオンラインヘルプやマニュアルは、インターネット接続環境で Arcserve Backup をご利用になる場合に参照できます。インターネットに接続しない環境でオンラインヘル プやマニュアルを参照するには、下記の技術情報にアクセスし、設定を行ってください。

Arcserve Backup r17.5 オンラインヘルプ/マニュアルをローカル環境で参照する方法: https://support.arcserve.com/s/article/115000850743?language=ja